

第142回エイズ動向委員会
委員長コメント

《平成27年第2四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成27年3月30日～平成27年6月28日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は267件（前回報告221件、前年同時期276件）
そのうち男性254件、女性13件で、男性は前回（203件）より増加、前年同時期（116件）より減少、女性は前回（6件）より減少、前年同時期（4件）と同数
3. 新規AIDS患者報告数は118件（前回報告100件、前年同時期120件）
そのうち男性114件、女性4件で、男性は前回（94件）より増加、前年同時期（116件）より減少、女性は前回（6件）より減少、前年同時期（4件）と同数
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は385件（新規エイズは30.6%）

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが169件（全HIV感染者報告数の約63%）
 - 異性間性的接触によるものが63件（全HIV感染者報告数の約24%）
そのうち男性53件、女性10件
 - 静注薬物によるものは3件（うち、その他に計上されているものが2件）
 - 母子感染によるものは1件
 - 年齢別では、20～40代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが67件（全AIDS患者報告数の57%）
 - 異性間性的接触によるものが27件（全AIDS患者報告数の23%）
そのうち男性24件、女性3件
 - 静注薬物によるものは1件（うち、その他に計上されているものが1件）
 - 年齢別では、40代前後が多い。

【検査・相談件数の概況（平成27年4月～6月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は24,030件
（前回報告速報値23,778件、前年同時期確定値29,238件）
自治体を実施する保健所以外の検査件数（速報値）は7,546件
（前回報告速報値7,667件、前年同時期確定値8,691件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は34,658件
（前回報告速報値32,602件、前年同時期確定値38,922件）

【献血の概況（平成27年1月～6月）】

1. 献血件数（速報値）は、2,464,119件（前年同時期速報値2,511,475件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は27件（前年同時期速報値36

件)

10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.096件（前年同時期速報値 1.433件）

《まとめ》

1. 今回は、H I V検査普及週間を含む四半期であった。前回に比し、新規H I V感染者報告数、新規A I D S患者報告数は増加した。
2. 新規H I V感染者は20～40代、新規A I D S患者は40代前後で報告数が多いが、幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、H I Vに感染する可能性がある。適切な予防策により感染を予防することが可能であり、また重要である。
3. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名H I V抗体検査および相談を積極的に利用していただきたい。